

# 株式会社ジェイコムイースト 東関東局

## 放送番組審議会 議事録

2013 年度の放送番組審議会は 2014 年 6 月 25 日（水）に東関東局で開催された。

### <放送番組審議会委員>

#### ■ご出席（五十音順）

伊 東 晋 様                      庄 子 進 様                      田 口 恵 一 様  
西 川 美 恵 子 様              平 井 克 己 様

#### ■ご欠席 ※委任状あり

坂 詰 宮 子 様                      関 学 様

#### ■事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みに関して報告があった。

#### 【質疑応答】

#### ■柏市広報番組について、季節感ある情報を

（委員） 7月にスタートする柏市の番組における役所との関係は。内容は、柏市の公的情報を流すことになるのか。

また、情報系番組では、開花情報など、タイミングよく季節感のある情報もあったらいい。

（事業者） 柏市の広報予算の中で、同市広報課の意向に沿って番組制作をすることになる。背景には、市民の定住化を図ったり、柏の良さを周知することを目的としている。読売新聞にも広報番組に関する記事が掲載された。

#### ■もっと地元を知る情報を

（委員） 番組が充実してきた。文化、スポーツ、行政とのタイアップも良いことである。柏は、東京周辺で自然も残っている良い町だと言われるが、もっと文化、スポーツ、アカデミズムと市民とのつながりを紹介する情報があってもいい。市のイメージアップにもなる。

■既加入への新 STB 案内

(委員) 年々、番組が充実してきた印象である。ハードの面では、新規の方には新しい STB を案内していると思うが、既存の加入者にも積極的に切替えのアプローチをしているのか。

(事業者) テレビ CM、番組ガイドなどで既存のお客様にも切り替えを促進している。月額の利用料も変わらない。スピードアップして、解約防止、他社への切替え防止のためにも、積極的にご案内したい。

■加入の新規開拓手法

(委員) 新規開拓は、飛び込み営業ということか。

(事業者) これまでと同様の手法に加えて、電力サービス（電力の小売化）のご案内で、これまで接触機会のなかったお客様にもアプローチを広げている。

■「芸術祭」放送機会による TV サービス加入

(委員) 行政との関係強化の取組みでは良い活動をしている。

NHK カジュアルクラシックコンサートは、良いイベントであった。昨年初めて開催した「柏市民芸術祭」は、今年も大成功に終わり、多くの方々に喜んでいただいた。「芸術祭」の放送がきっかけで、J:COM 加入にもつながっている。

■番組の視聴率データ

(委員) 番組の視聴率は取れるのか。第三者的な数字の物差しが欲しい

(事業者) 社内の内部資料的なものはあるが、地上波の抽出方法とは異なるため、対比できない。そのため、開示をしていない。

■EPG 内容の充実を

(委員) EPG の番組表があるが、BS、地上波に比べて内容が簡略すぎる。出演者すら掲載されていない番組もある。視聴者の欲しい情報がない。もう少し充実できないか。今の番組情報では、中身が判らず、直接受信の地上波・EPG を見た後、J:COM 戻って録画することになり不便である。業務的な情報は不要なのではないか。視聴者からもこうした指摘はないのだろうか。

ここを充実することで、喜ばれる視聴者が多いと思う。

(事業者) 同様に J:COM チャンネルに於ける EPG のご指摘はいただいております、改善のための組み立てをしているところである。

新しい STB では、従来、最大 500GB（ギガ）だった録画容量を 2TB（テラ）に増やしている。従って、我々としても地上波含め録画視聴も促進しているところである。ガイド誌でも BS 番組表掲載を開始している。EPG 内容の充実は、本部

にも働きかけをして、使い勝手を高めていきたい。

#### ■JCN との番組統一

(委員) JCN グループと番組の統一は出来たのか。

(事業者) 6月1日に番組の統一を実施した。旧 JCN エリアには、黒 BOX (Smart J:COM Box) が導入できていない。まず、顧客管理システムを一緒にする必要があるので、千葉エリアは今年の10月以降になる見込みである。

#### ■新 STB に関して

(委員) au の携帯を持っていないと白 BOX (Smart TV Box) には加入できないのか。

(事業者) 加入は出来るが、連携しないと利用するメリットが少ない。現状の比率でいえば、黒 BOX が支持されている。一番の違いは、白 BOX は、VOD が視聴できない。将来的には共通化する可能性もある。KDDI の「ビデオパス」は IP-VOD なので、白 BOX でも視聴可能である。

また、J:COM 以外の CATV 局には、IP-VOD を販売することも検討している。

#### ■4K テレビの J:COM ショップ設置

(事業者) 4K テレビを柏と我孫子の J:COM ショップに設置したところである。

「4K」の映像を体感することが可能である。

#### ■多チャンネル市場の飽和感

(委員) 全国的に加入者は飽和してきたという感じだろうか。

(事業者) 多チャンネルの加入者の伸びは鈍化しているが、今回の新 STB の導入により、これまで取れなかった若年層も取り込んで成長を目指したい。

40、50 歳代以上の層に比べ、弱いとされていた 20 歳代から 30 代前半を取り込まないと、これから 10 年単位の先では厳しくなる。

#### ■電力サービスの次商品

(委員) 電力サービスの次というと、ショッピングの宅配や出前などのサービスを考えているのか。

(事業者) 生活支援サービスという大きな括りの中で TVでのショッピングは既に可能である。安心・安全につながるような、高齢者の単身世帯向けの商品配達、例えば電球を届けるだけでなく、取替えサービスも提供する。こうした高齢者向けサービスに加えて、若年層を取り込むサービスの充実が課題となる。

■双方向性を利用した個人情報サービス化

(委員) CATV 局の STB は双方向であり、加入者との間で契約化することで個人情報を  
利用したサービスも可能であろう。双方向のネットワークで家庭とつながって  
いるのは、強みである。

以上